

「第4次永平寺町地域福祉計画（素案）」  
に関するパブリックコメントの実施結果について

1. パブリックコメントの概要

- (1) 募集期間 令和8年1月16日（金）～令和8年1月30日（金）
- (2) 閲覧場所 本庁、各支所、松岡福祉総合センター、町ホームページ

2. 意見の集計結果

- (1) 意見提出者数及び意見数

意見提出者数 3人

(持参1人、郵送0人、FAX0人、電子メール0人、WEBフォーム2人)

意見数 6件

- (2) ご意見の概要及び回答

いただいたご意見の概要と町の考え方は次のとおりです。

なお、ご意見につきましては、趣旨を踏まえて要約しています。

パブリックコメントに対する意見と町の考え方一覧

番号	意見の概要	町の考え方
1	地域福祉課題の把握、見守り、相談対応、個別避難計画の作成などにおいて、民生委員の関与が前提とされているように感じられます。一方で、民生委員の高齢化やなり手不足は深刻であり、これ以上役割や負担が増えれば、活動の継続自体が困難になることが懸念されます。担い手の善意や使命感に依存した体制には限界があります。	民生委員の高齢化や担い手不足につきましては、本町としても重要な問題だと認識しております。 民生委員・児童委員のみではなく、福祉委員等さまざまな地域の方がそれぞれの役割を理解し、相互につながることで地域福祉活動の担い手として活動できるよう、地域での連携強化と活動を支援していきます。
2	重層的支援体制や包括的相談支援体制についても、「連携」「強化」という表現にとどまり、実際に誰が調整役を担い、どの機関が責任を持つのが明確ではありません。 相談を受けた際、現場で迷わずにつなげられる具体的な支援の流れや窓口の一本化が不可欠です。	相談支援体制については、既存の相談支援体制を活かしつつ、属性を問わない包括的な支援を構築することを目指しております。関係機関との協議を重ね、円滑な連携を図り、包括支援体制整備を進めてまいります。
3	成年後見制度や権利擁護支援については、住民の認知度が低いことが指摘されていますが、制度を住民に伝える役割を担う民生委員への研修や情報提供が十分とは言えません。計画を理念で終わらせないためにも、現場の実情を踏まえ、役割分担と支援体制を明確にした、実行可能な仕組みづくりを強く求めます。	成年後見制度及び権利擁護支援については、本計画に包含する形で、新たに成年後見制度利用促進計画を策定いたします。県や近隣市町との連携を図りながら、計画に記載している具体的な取り組みに基づき、さらなる充実を図ってまいります。

番号	意見の概要	町の考え方
4	<p>おむつサブスクリプション（定期配送・定額支給）」制度の導入を検討していただきたい。</p> <p>導入することによるメリット</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 子育て世帯の経済的負担の軽減</li> <li>2. 育児負担の軽減と時間創出</li> <li>3. 少子化対策としての効果</li> <li>4. 保育現場の業務負担軽減と保育の質向上</li> </ol>	<p>子育て世帯への経済的支援の拡充につきましては、町としましても重要な課題の1つだと認識しております。</p> <p>本町では、本計画と同様に令和8年度を始期とするこどもや子育て世帯に対する個別具体的な施策をまとめた「永平寺町こども計画」の策定をすすめています。</p> <p>いただいたご意見につきましては、所管課と共有するとともに、より子育てしやすいまちづくりに向けて町全体で取り組んでいきたいと考えております。</p>
5	<p>幼児期におけるオムツや手拭きタオルの持参は、多子世帯や共働き家庭にとって負担となることもあります。他自治体では、オムツやタオルのサブスクリプション導入により、保護者の負担軽減や忘れ物防止につながっている例もあり、子育てしやすい環境づくりの一つとして有効だと感じています。</p>	<p>オムツやタオルのサブスクリプション導入のご意見につきましては、こども・子育てに関する所管課と共有させていただきます。</p>
6	<p>子どもが成長する中で、通う場所や環境が変わることで、地域の中でさまざまな人と関わる機会が少なくなってしまうのではないかと不安を感じる家庭もあると思います。</p> <p>学校や立場が変わっても、子どもや保護者が地域の中で自然につながり続けられるような交流の場や仕組みづくりを、地域福祉施策の一つとして検討していただけたらと思います。</p>	<p>こどもや保護者のつながりや居場所づくりを通して、少しでも不安や悩みを軽減するため、新たに以下の取組を追記いたします。</p> <p>基本目標1 地域で支えあう土台づくり  (2) 人と人が支え合う仕組みづくり  施策2 人々がつながる活動への支援  <u>○子育て世代がこどもや親の所属を問わず地域で交流できるつながりある活動を支援します。</u></p>